

取材のご案内

2022年1月8日(土) 10:30~11:30

鳥取のお正月の定番“あずき雑煮”を提供！

六本木ヒルズ屋上庭園で鳥取県産もち米を使用の「もちつき」イベント開催

～日本最大級の弥生遺跡を有する鳥取県による弥生文化の体験コーナーも～

六本木ヒルズの屋上庭園(地上約45m)では2006年以降、毎年様々な自治体とコラボレーションし、その土地のお米を栽培・収穫してきました。今年度は鳥取県がコラボレーションし、オリジナル米「星空舞(ほしぞらまい)」を使い今年5月に田植え、10月に稲刈りを行いました。いずれも、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、参加者は募集せず、関係者が実施することになりましたが、2022年1月8日(土)に行われる「もちつき」イベントでは、今年度初めて一般の参加者をお迎えします。(※)当日は、鳥取県産の「ハウトモチ」(もち米)と「古代米」(もち米)を使い、臼と杵を用いた「もちつき」を体験いただく予定です。

鳥取県は日本最大級の弥生遺跡を有し、今年、約1800年前の頭蓋骨とそのDNAから復元した「青谷弥生人」が話題となりました。特設コーナーでは、弥生時代に使われていた「堅杵(たてぎね)」と「木臼」を使ったもちつき体験や、弥生風衣装の試着などを通じて、日本に稲作が広まった弥生時代にタイムスリップした気分を味わっていただきます。

つきたてのお餅は、弥生時代にも食されていた「ジビエ(イノシシ)」を使った雑煮の他、全国的にも珍しい鳥取県のお正月の味“あずき雑煮”で振舞われる予定です。

是非、この機会に取材をご検討いただきたく、以下の通りご案内します。



堅杵と木臼を使った
弥生時代風もちつき(イメージ)



復元された青谷弥生人像もやってくる！



つきたて餅入りあずき雑煮(イメージ)

【六本木ヒルズ「もちつき」イベント概要】**メディア受付時間：2022年1月8日(土) 10:00～****メディア受付場所：六本木けやき坂通りにかかるブリッジ上**

- 日 時：2022年1月8日(土) 10:30～11:30 (メディア受付 10:00～) ※雨天・荒天時は中止になることがあります。
- 場 所：六本木ヒルズ けやき坂コンプレックス屋上(通常非公開)
- 参加者：六本木ヒルズ在住・近隣のご家族、六本木ヒルズのオフィス・店舗にお勤めの方とご家族(約50名)
- 実施内容：もちつき体験、「あずき雑煮」や「鳥取ジビエ(イノシシ)」を使った雑煮の振舞い、弥生時代体験
- 使用品種：鳥取県産「ハウトモチ」(もち米)、「古代米」(もち米)
- 参加費：無料
- 主 催：森ビル株式会社
- 協 力：鳥取県

ご取材を希望される場合は、3ページ目の返信フォームよりご返信をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※)屋上庭園での「もちつき」イベントは18回目、2年ぶりの開催。

■地方文化と食文化を六本木ヒルズから発信 ～今年度は鳥取県とコラボレーション～

屋上庭園の水田を活用した取り組みは、2003年の六本木ヒルズ開業以来、今年で19回目を迎えます。また、六本木ヒルズから地方文化を発信していく地方自治体とのコラボレーションは今年で16回目となります。今年度は、県内すべての市町村で天の川が見え、自ら「星取県(ほしとりけん)」を名乗るほど、きれいな星空が自慢の鳥取県とコラボレーションし、「星空舞(ほしぞらまい)」を栽培しました。田植えの時期には、星空自慢の鳥取県にちなみ“流れ星”の田んぼアートにも挑戦。収穫前には見事な田んぼアートが完成しました。また今年度は、屋上庭園を舞台にした稲作文化の体験だけでなく、六本木ヒルズ内の飲食店とのコラボレーションも実現。鳥取県産の食材を贅沢に使ったメニューが期間限定で展開されました。



“流れ星”の田んぼアート



星空舞(イメージ)

<地方コラボレーション実績>

開催年	自治体	開催年	自治体
2006年	福井県	2014年	宮城県・仙台市
2007年	三重県・伊勢市	2015年	福島県
2008年	京都府	2016年	青森県
2009年	秋田県	2017年	福井県
2010年	岐阜県・下呂市	2018年	岐阜県・郡上市
2011年	徳島県・美馬市	2019年	宮城県
2012年	熊本県	2020年	富山県
2013年	新潟県・新潟市	2021年	鳥取県

【弥生時代の文化体験】

当日は、特設コーナーにて「竪杵(たてぎね)」と「木臼」を使ったもちつきや、弥生風衣装の試着のほか、鳥取県で発掘された約1800年前の頭蓋骨とそのDNAから復元した「青谷弥生人」などを展示し、弥生時代の文化も体験いただけます。また、弥生時代にも食されていた“ジビエ(イノシシ)”を使った雑煮もお召し上がりいただけます。



弥生時代の衣装(イメージ)



竪杵と木臼を使った
弥生時代風もちつき(イメージ)

【鳥取県産のもち米「ハクトモチ」を使ったあずき雑煮】

鳥取県では、全国的にも珍しい“あずき雑煮”でお正月を迎えます。古来より、その赤色が邪気を払うと言われハレの日の食材として使われていたあずきの煮汁に、やわらかく煮た丸もちを入れたものです。「ハクトモチ」は、鳥取県の伝説「因幡(いなば)の白兔」で真っ白なうさぎがピョンピョン跳ねて飛躍するようにもち米として大きく飛躍してほしいという想いから名づけられた、鳥取県を中心に栽培されているもち米です。もち米のなかでも特によく伸びる特性を持っており甘みも感じます。



あずき雑煮(イメージ)

イベント当日は、小豆がごろごろ入った鳥取の定番「あずき雑煮」をお召し上がりいただけます。

【鳥取県は、人骨とDNAの研究から約1800年前の弥生人の顔の復元に成功】

2000年に鳥取市の青谷上寺地遺跡(あおやかみじちいせき)で大量に出土した弥生時代後期(約1800年前)の人骨のうち、3個体の頭蓋骨に当時の人の脳が残されていることがわかりました。弥生人の脳は国内で初めての発見です。復顔像を制作したのは、このうちの1個体で、大人の男性です。この男性の頭蓋骨はDNAの保存状態も良く、ミトコンドリアDNAの分析により母系は渡来系、核DNAの解析により父系は縄文系であることや、頭髪は黒々とした太めの毛であったことがわかりました。

鳥取県では、国立科学博物館の監修を受けながら、頭蓋骨の形態やDNAの分析結果をもとに、このたび初上京する「青谷弥生人(あおややよいじん)」の復顔像を制作しました。遺伝子情報も反映した弥生人の復顔は全国初の試みです。六本木ヒルズ屋上庭園でのもちつきにあわせて、貴重な復顔像がやってきます。



◇取材に関するお問合せ先◇

鳥取県広報事務局(KMC group内:関口/大内/福永) TEL:03-6261-7413 Mail: info@kmcpr.co.jp

参加申し込みフォーム

1月7日(金)15時までに、下記 URL より出欠席のご返信をお願いします。

<https://bit.ly/3ypV7X1>



FAX 用返信用紙

FAX・Email でのお申し込みも受け付けております。1月7日(金)15時までに返信ください。

FAX: 03-6701-7543 Email: info@kmcpr.co.jp

鳥取県広報事務局 (KMC group 内 担当: 関口・大内・福永)

六本木ヒルズ「もちつき」イベント

日時: 2021年1月8日(土) 10:30~11:30(メディア受付 10:00~)

会場: 六本木ヒルズ けやき坂コンプレックス屋上(東京都港区六本木6丁目10番2号)

受付: 六本木けやき通りにかかるブリッジ上

ご出席

ご欠席

貴社名

貴媒体名／番組名

部署名

お名前

計 名様

ムービー:

台

スチール:

台

TEL:

FAX:

当日連絡先:

Email:

<新型コロナウイルス感染症対策について>

六本木ヒルズでは、関係者全員が新型コロナウイルスの感染の予防と拡大防止のため、予防対策を徹底しています。

また、お客様に対しては、以下お願い事項へのご理解、ご協力をお願いしています。

▼感染予防対策とご協力をお願い

- ・当日、イベント参加前に検温を行っていただき、37.5℃以上の発熱や咳など風邪の症状がある方、体調の優れない方は、参加をご遠慮ください。
- ・同居家族や職場、学校などで新型コロナウイルス感染症の感染者、もしくは感染の可能性のある方が、身近にいらっしゃる方は参加をご遠慮ください。
- ・非接触型体温計による検温にご協力ください。37.5℃以上の場合にはイベント参加をお断りしています。
- ・イベント参加の際は必ずマスクのご着用をお願いします。
- ・各施設の入り口などには消毒用アルコールを設置していますので、ご利用ください。
- ・列に並ぶ際は、前の人と1メートル以上の間隔を取ってください。

<ヒルズみんなのルール>

森ビルの新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み (<https://www.roppongihills.com/topics/2020/06/006476.html>)